

当院における低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症に関する研究

1. 研究の対象

2000年以降に当院を受診し低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症と診断された方
もしくは他院で低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症と診断され、治療目的に2000年
以降に当院を紹介受診した方

2. 研究目的・方法

目的

男性不妊症において、低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症は頻度の低い疾患ではあるものの、適切な診断と治療を行うことで妊孕性を得ることが可能な疾患である。しかし、その病態や適切な治療法などは不明な点も多い。今回当院にて検査や治療を行った低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症と診断された症例の検討を後ろ向きに行い、疾患の原因解明を行い、治療法の有効性を検討する。

方法

当院にて検査や治療を行った低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症症例を対象とし、その患者背景、治療経過などについて後方視的に検討する。さらに射出精子確認可能群と未確認群に分け、それぞれの患者背景、治療法を検討することにより、低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症における男性不妊症の治療成績の予測因子について検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院にて検査や治療を行った低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症症例の病歴、カルテ上の身体所見に関する情報（精巣のサイズなど）、内分泌検査結果（LH, FSH, テストステロン、遊離テストステロン）、治療方法、婚姻状況、治療前後の精液検査所見、術後の挙児獲得の状況などの診療記録から収集した情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学部泌尿器科

TEL 06-6879-3531

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座 福原慎一郎